日野宿発見隊通信

第十九号

発行／日野宿発見隊（日野図書館内）℡０４２-５８４-０４６７

デジタルスタンプラリーin日野宿2021

（第98弾）

令和3年4月29日(木)から5月9日(日)。日野宿を会場にした「デジタルスタンプラリーin日野宿2021」を開催しました。

コロナ禍のため、いつもの「ドデカスタンプ」でのラリーとはなりませんでしたが、参加者の皆さんの安全・安心を図るため、スタンプ画像をカメラで撮影して集める方法での開催となりました。

この間、日野宿を巡っていただいた方は598名。17か所を全て集めた「コンプリート」の記念品を受け取ったのは265名でした。

ちなみに、記念品は「日野駅開業130年記念絵葉書（12枚セット）」でしたが、コンプリートした子どもたちの中には、10か所回ってもらえる缶バッチの方が魅力的だった子もいたようです。

日野銀行跡

親水広場

日野駅西煉瓦橋

夏休み！親子で調べよう日野用水

（第99弾）

令和3年7月24日（土）の午前中、「夏休み！親子で調べよう日野用水」を開催しました。

参加者は9組の親子（子ども11名、大人10名）とスタッフ9名（うち事務局2名）、計30名。

緊急事態宣言下でもあり、感染予防を考慮し、今回は募集人員を例年の半数とし、内容も新東光寺地区センター前の用水での生き物観察に限定した取り組みとなりました。

そんななか驚かされたのは、井上リーダーが長さ1メートルほどのシマヘビ（無毒）を捕獲！ほとんどの子が怖がるなか、平気でシマヘビにさわり、その皮膚の触感を楽しむ（？）1年生が登場したことです。ついにはシマヘビを首の回りに回してもらってご満悦。第二の井上リーダーの誕生に微笑んでしまいました。

この後、井上リーダーの解説を受け、用水に放流したシマヘビが上手に泳げることをじっくり観察したあと、お約束どおり、捕獲したすべての生き物を用水に放流しました。

最後に、事務局による日野用水や生き物に関する本の紹介ののち、参加者全員にお土産の缶バッジが配られ、11時30分、事故もなく無事閉会となりました。

「スタンプラリーin日野宿2022」開催予定

来る5月7日（土）に、「スタンプラリーin日野宿2022」を開催予定です。

2年ぶりにおなじみのスタンプラリーを予定していますが、新型コロナウイルス感染状況によっては、「デジタルスタンプラリー」に変更する場合があります。どうぞご了承ください。

なお、開催にあたっては感染拡大防止に十分注意致します。

八坂の祭り写真展（第101弾）

今回も八坂の祭りは残念ながら中止となりましたが、前回に引き続き、14回目の八坂の祭り写真展を9月いっぱい開催しました。

玉垣に25点、南側フェンスに24点、竹間家フェンスに5点、さらに森町消防器具置場の壁面に15点、計69点、明治後期から令和の写真を展示しました。

なお、森町消防器具置場の壁面に展示した現代の写真は井上博司さんや乙津由敏さんから提供していただいたものです。

八坂神社の玉垣

八坂神社南側フェンス

森町消防器具置場

竹間家フェンス

第16回子ども発見隊「行灯をつくろう」（第100弾）

令和3年12月4日(土)、日野宿交流館にて「行灯（あんどん）をつくろう」を開催しました。

行灯を作るのに必要な材料については、木材はマルセさんのご協力があり、半紙は猪鼻輪業さんから寄贈していただきました。木枠は開催前に隊員が製作しました。

当日は、「コロナを撃退する妖怪を描こう！」をテーマに、日野宿発見隊の隊員が講師となり、アドバイスを受けながら思い思いの絵を描きあげ、木枠に貼り付けて完成。

その後、出来上がった行灯を持って、全員で普門寺に移動。普門寺では、各自思い思いの場所に行灯を置いて、あかりを灯しました（電池式のライト）。普門寺の方がお堂の中の照明を灯し、扉をうっすらと開けてくださったので、より、雰囲気を味わうことができました。

ご参加くださいました皆様、ご協力くださいました地域の皆様、ありがとうございました。そしてコロナが一日も早く収束することを祈念します。

行灯作りに挑戦する母娘づれ

猪鼻輪業さんが廃業されました

90有余年の月日に渡り、甲州街道を見守り続けてこられた猪鼻輪業さんが昨年末をもって店を閉じられました。「良品奉仕」をモットーに営んできたお店の前には、お客さんと会話したり、作業する猪鼻さんの姿がいつもありました。地元に根付いたお店がまたひとつ失われるのは、とてもさびしいですが、今後はゆっくり、体に気をつけて過ごしていただきたいものです。

訃報

日頃から日野宿発見隊の活動を支援していただいていた佐藤喜通さんと安西清さんが相次いで亡くなられました。心より哀悼の意を表します。